



財団創立者 山崎貞一氏

1. 設立の経緯

山崎貞一TDK株式会社第2代社長（牧之原市出身）は、少年少女の科学する心の芽生えを育てることを願い、昭和58年私財を投じて「財団法人山崎自然科学教育振興会」を設立した。現在は、財団の名称を「公益財団法人山崎自然科学教育振興会」と変更し活動が続いている。初代の理事長は実弟の元静岡県議会議員 山崎勝二氏です。

2. 財団の事業

少年時代から科学する心の芽を育て、科学性・創造性豊かな青少年の育成をめざして、以下の事業を行っています。

- 1. 顕彰事業（成果を重視して表彰する山崎賞）
- 2. 助成事業（研究する意欲を支援する助成金）
- 3. 啓発事業（科学教室の開催、講師派遣、講演会・研修会支援）

3. これまでの実績

助成事業（研究助成） 1～39回

児童・生徒	750件	学校	204件	教員	216件
助成金総額		114,928,000円			

顕彰事業（山崎賞） 1～41回

児童・生徒	1,828件	学校	149件	教員	236件
副賞金総額		114,620,000円			

第39回（令和7年度）

研究助成金伝達式

1 開 式

2 代表理事挨拶 代表理事 丹 沢 哲 郎

3 選考経過報告 選考委員長 佐 田 恵 子
（県立吉原高等学校長・県理科教育協議会長）

4 助 成 金 伝 達

5 来 賓 祝 辞 静岡県教育委員会
教育長 池 上 重 弘

6 発 表 「研究への抱負」

セミの研究 Part5 浜松市立雄踏小学校 6年 飯尾明香里

探せ!!身近にある石 パート7 静岡大学教育学部附属 2年 小泉 尚志
静岡中学校

クワガタムシ幼虫における メス斑の役割解明 県立焼津中央高等学校 2年 石橋 桐磨
ほか8名

7 閉 式

日 時 令和7年6月29日(日) 午後1時

会 場 静岡県職員会館「もくせい会館」
静岡市葵区鷹匠3-6-1 TEL 〈054〉245-1595

第39回（令和7年度）研究助成（児童・生徒、学校、教員）

小・中学校の部

児童・生徒の部（22件）

番号	学 校 名	学年	氏名（代表）	指導教員名	研 究 主 題
小1	藤枝市立葉梨西北小学校	6	小長谷咲月	平井直美	ナミアゲハ 春型をつくれるか？
2	藤 枝 市 立 葉 梨 小 学 校	4	小長谷春貴	岩崎宏光	あさがお どうやって開花を決める？
3	浜 松 市 立 雄 踏 小 学 校	6	飯尾明香里	植田和章	セミの研究 Part 5
4	静 岡 サ レ ジ オ 小 学 校	6	森谷陶人	土田隆仁	湿地におけるヨシノボリなどの生息環境
5	静岡県立西豊田小学校	6	橋ヶ谷一翔	山本阿素加	ウマノスズクサの活用方法
6	焼 津 市 立 和 田 小 学 校	6	伊久美友哉	杉山智志	液体電池 ～身近なもので電力開発！～
中1	県立浜松西高等学校・中等部	1	山下瑞喜	石濱麻衣	カラスの研究 5
2	御前崎市立浜岡中学校	2	河原崎 希	宮下滉平	イシクラゲの研究 part 4
3	浜 松 市 立 雄 踏 中 学 校	3	飯尾眺太	増田悟子	STOP 地球温暖化 part 7
4	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	岡本凜子 ほか9名	倉島茂見	持続可能な自然と人間の共生
5	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	渥美啓太郎 播磨功基	入山志帆	動物の生活リズム
6	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	大西詠子 ほか2名	倉島茂見	救え大量廃棄～捨てる部分を肥料に再利用～
7	静岡大学教育学部附属浜松中学校	1	瀬戸海優 ほか2名	入山志帆	LEDを利用した農業とその未来について
8	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	柴田千歳	中澤祐介	ひずむと熱が発生する？ イオの火山の不思議 5
9	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	内山楓雅	中澤祐介	ぼくの都市鉱山物語 ～金抽出編～
10	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	落合晃馬	中澤祐介	救えプラスチックごみだらけの地球 パート V
11	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	伊藤佑夏	樫尾昌憲	身近な植物 3 ～生命力を探る 2～
12	静岡大学教育学部附属浜松中学校	1	佐藤麗菜	樫尾昌憲	カナヘビの知恵～カナヘビの生き方を探る～
13	富士市立吉原第三中学校	2	川上星光	小永井俊樹	お茶の殺菌作用の効果
14	静岡大学教育学部附属静岡中学校	2	小泉尚志	糟屋晃久	探せ!!身近にある石 パート 7
15	焼 津 市 立 大 村 中 学 校	1	青木 聡	大塚昌裕	ジャコウアゲハの蛹化成長カーブについて
16	静岡大学教育学部附属島田中学校	2	大石悠人	大久保正樹	自作アロマオイルへの挑戦！
17	静岡大学教育学部附属島田中学校	2	伊藤映人	大久保正樹	イモリの研究ファイナル～6年間の集大成～
18	静岡大学教育学部附属島田中学校	1	望月颯真	松浦昭彦	ミノムシの研究Ⅳ 環境に優しい糸作り
19	浜 松 市 立 可 美 中 学 校	3	伊藤壮太	鈴木亜希子	アカガエル類の生息条件の比較
20	静 岡 サ レ ジ オ 中 学 校	3	片山瑠唯 ほか3名	森下 廉	ダンゴムシの巨大化プロセスの解明
21	浜 松 市 立 蜷 塚 中 学 校	2	齋藤晴太	近藤崇之	佐鳴湖の底泥改善調査
22	浜松学芸中学校・高等学校	1	今原 良	伊藤信一	佐鳴湖の底泥改善実験

教 員 の 部（2件）

番号	学 校 名	職名	氏名（代表）	共同研究者	研 究 主 題
小1	加藤学園暁秀初等学校	教頭	中原 悟		地質理解を深める実験と校外学習の開発
中1	伊豆市立伊豆中学校	教諭	大川翔平	落合孝弘 松平朋香	中学校理科でのプロジェクト指向の単元構想

高等学校の部

生 徒 の 部（25件）

番号	学 校 名	学年	氏名（代表）	指導教員名	研 究 主 題
高1	県立浜松北高等学校	1	山下颯梧	佐藤他加志	スートリアの研究 part 5
2	県立磐田南高等学校	2	稲垣遼太郎 ほか5名	立石紀子	スギナに見られる蛍光成分
3	県立静岡高等学校	3	福士玲青 ほか3名	杉本恭規	静岡市安東自噴帯における地下水の挙動
4	県立静岡高等学校	2	高井風希	戸塚滋子	黒サビが鉄の腐食を防ぐ仕組み
5	県立静岡高等学校	1	堀池哲平	戸塚滋子	生分解性プラスチックの分解研究 2025
6	学校法人静岡理科大学静岡北高等学校	2	増木蔵大 ほか2名	塚越汐里	長尾川の渇水時の水生生物の生存戦略 2
7	学校法人静岡理科大学静岡北高等学校	2	和田有芽佳 奥田絢音	塚越汐里	ポポーの葉の忌避効果の検証
8	学校法人静岡理科大学静岡北高等学校	2	吉田 要 ほか5名	塚越 舜 塚越汐里	共生生物の強光阻害による光合成色素の変化
9	学校法人静岡理科大学静岡北高等学校	3	山村悌公	塚越汐里	静岡県内トウヨシノボリ池沼型の分類形質
10	県立焼津中央高等学校	3	谷澤陸斗 ほか7名	矢追雄一	海中清掃による釣りゴミの回収とGIS解析
11	県立焼津中央高等学校	2	石橋桐磨 ほか8名	矢追雄一	クワガタムシ幼虫におけるメス斑の役割解明
12	浜 松 日 体 高 等 学 校	2	山口賢太郎 ほか7名	河合克仁	インジルビン合成のための工学的アプローチ
13	浜 松 日 体 高 等 学 校	1	平井真桜 ほか6名	河合克仁	置換インジルビンの合成と色特性
14	県立韮山高等学校	1	遠藤蒼空 ほか3名	吉田亮祐	オジギソウは刺激を本当に記憶するか
15	県立韮山高等学校	2	内田柚木 ほか2名	吉田亮祐	重金属集積植物を用いた土壌浄化
16	県立韮山高等学校	2	北村祐介 ほか4名	富川友秀	伊豆若草石の成分分析と再現に関する研究
17	県立田方農業高等学校	2	高野滯弥 ほか6名	小杉健作	ワサビ茎葉を活用した環境保全型農業の実践
18	浜松学芸中学校・高等学校	2	水谷架士羽	伊藤信一	コジユケイの音声コミュニケーション
19	浜松学芸中学校・高等学校	1	大石晴登 ほか2名	村上 拓	酸化チタン表面の酸素原子拡散・吸着特性
20	浜松学芸中学校・高等学校	2	宮野智矢 ほか2名	村上 拓	酸化膜構造に由来するビスマスの色の定量化
21	浜松学芸中学校・高等学校	2	山本菜帆 ほか5名	伊藤信一	エビ殻プラスチックでタコを釣る
22	浜松学芸中学校・高等学校	2	是賀柳之介 ほか2名	伊藤信一	ミツバチは花粉と蜜をどこから集めてくる？
23	浜松学芸中学校・高等学校	1	山田耕平 ほか3名	伊藤信一	砂漣形成メカニズムと湿潤環境下での安息角
24	県立掛川西高等学校	2	伊藤和樹	山下和晃	パラシュートにおける運動とその要因の研究Ⅳ
25	加 藤 学 園 高 等 学 校	2	伊藤翼 ほか16名	武田徹也	水道水は安全で美味しいですか？

学 校 の 部（3件）

番号	学 校 名	職名	氏名（代表）	校長氏名	研 究 主 題
高1	県立韮山高等学校	教諭	渡邊充司	三枝美保子	高校の探究活動と産学連携の試み
2	県立下田高等学校	教諭	荻野真宏	山崎文則	校種を超えた理科探究活動と地域連携 2
3	静岡雙葉高等学校	教諭	吉村知子	林 健久	駿府城の周辺への在来ホタル定着を目指して

教 員 の 部（4件）

番号	学 校 名	職名	氏名（代表）	共同研究者	研 究 主 題
高1	県立三島北高等学校	教諭	鈴木剛志		エンドウマメの再生芽の教材利用
2	浜松学芸中学校・高等学校	教諭	伊藤信一		地域環境を活用した地学教材の開発
3	浜松学芸中学校・高等学校	教諭	村上 拓		自ら判断し、立ち向かう力を育む情報科教材
4	学校法人静岡理科大学静岡北高等学校	教諭	松永悦子		海水で稼働する定点カメラの製作